

# The National Conference of Community Cinemas シネマ会議

The National  
Conference of  
Community  
Cinemas  
2024  
in KAWASAKI

2024.9.19 | thu | , 20 | fri |

全国コミュニティシネマ会議2024イン川崎

<http://jc3.jp/wp/conference/>

# The National Conference of Community Cinemas 2024 in KAWASAKI

2024.9.19 | thu |, 20 | fri

## 全国コミュニティシネマ会議2024イン川崎

全国コミュニティシネマ会議は、映画上映を行う人たちの情報交換と研究報告、ディスカッション、交流の場として、1996年から毎年開催されています。全国各地の映画館や、映画祭、シネマテークや公共ホール、自主上映団体、配給者や製作者、研究者や学生等々、上映活動、文化事業、コミュニティシネマの活動に関心のある人たちが集まります。

今年の会議は川崎市で開催します。映画振興制度は大きな転機を迎えています。2024年6月に発表された首相を議長とする「新しい資本主義実現会議」の本年度実施計画案では、「コンテンツ産業活性化戦略」として、コンテンツ産業官民協議会と映画戦略企画委員会の設置が明記されました。クリエイター支援、クリエイター育成が重視される戦略の中で、つくり手(クリエイター)の育成の場である映画館等の上映の場はどのように位置づけられるのでしょうか。関係者とともに話し合い、考えます。今年も、“映画上映の現在”を知り、これからの映画上映を豊かにするための、多彩なプログラムを準備しています。

### Program

\* 出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

9/19 [木]

会場:川崎市アートセンター小劇場 [定員:195人]

13:00

開場

13:30

開会 主催者挨拶

13:40-13:55

オープニング上映「川崎市政ニュース映画」セレクション (川崎市映像アーカイブ)

かつて県内の映画館で上映されていた「神奈川ニュース」の中で、川崎市に関連したニュース映像が、川崎市に権利譲渡されアーカイブ化されました。そのなかからのセレクションを上映します。

14:00-15:40

プレゼンテーション+講演

### “学びの場”としての映画館 I :コミュニティシネマの映画鑑賞教育プログラム

2021年にスタートした「夏休みの映画館」。全国各地の映画館やシネマテークが連携して子どものための上映会を開催、子どもたちに地域の映画館で多様な映画に出会う機会を提供するとともに、教育プログラムを専門に行うスタッフの育成、鑑賞ワークショップの方法論の構築を目指しています。国内の鑑賞教育プログラムのプレゼンテーションと、フランスの専門家による講演をききます。

プレゼンテーション① コミュニティシネマの映画鑑賞教育プログラム～「夏休みの映画館」を中心に

プレゼンテーション② 川崎市アートセンターの映画教育プログラム

講演 フランスの映画教育プログラムと若年層観客の育成・開拓

保育園から小学校、中学校、高校、大学における公教育、地域の映画館においても徹底した鑑賞教育が行われるフランス。映画教育は観客の開拓・育成においてどのような成果を挙げているのでしょうか。

—

[講師] ナデージュ・ルレ | Nadège Roulet (フランスの映画教育プラットフォーム「アルシベル・デルシオール (L'Archipel des lucioles)」映像教育プロジェクトマネージャー/教材制作出版担当) 大学で映画制作を学んだ後、映画教育を専攻、以後、20年以上にわたり、幼児から高校生まで若い観客の開拓・育成・教育事業に携わる。子どものための映画館「エルジュリーヌ」等いくつかの映画館での経験を経て、2013年に子ども向けの映画の専門サイト「benshi」を共同で創設。現在は映像教育プログラムをコーディネートする機関「アルシベル・デルシオール」に所属している。



15:50-17:30

プレゼンテーション+ディスカッション

### “学びの場”としての映画館 II :映画館が「クリエイター」を育成する

現在、内閣府知的財産戦略推進事務局(「新しい資本主義実現会議」)や経済産業省、文化庁等で新しい映画振興策が検討されています。この中で特に重視されているのが「クリエイター支援」「クリエイター育成」です。このディスカッションでは、多様な映画の鑑賞機会を提供する映画館やコミュニティシネマといった上映の場が、映画監督等のつくり手(クリエイター)のみならず、鑑賞者、上映者自身をも“育成”する場であり、幅広い意味でクリエイターの育成において重要な役割を果たす場所であることを確認し、その重要性と可能性を話し合います。

監督たちのメッセージ わたしと映画館(上映の場)

[メッセージ] 是枝裕和 | リム・カーワイ | 塚本晋也 | 深田晃司 | 濱口竜介 | 山崎樹一郎 | 小田香 | 山中瑤子 | アルノー・デブレシャン  
ペドロ・コスタ | ジュヒ(製作・配給・興行) | エリック・クー(ほか)

## ディスカッション

〔登壇者〕佐々木伸一（全国興行生活衛生同業組合連合会（全興連）会長、佐々木興業株式会社社長）

志尾睦子（一般社団法人コミュニティシネマセンター代表理事、NPO法人たかさきコミュニティシネマ代表）

諏訪敦彦（映画監督、action4cinema、東京藝術大学大学院映像研究科教授）

林健太郎（株式会社U-NEXT映画部）

渡辺栄太郎（経済産業省文化創造産業課総括補佐）

〔司会〕とちぎあきら（コミュニティシネマセンター理事、フィルム・アーキビスト）ほか 映画振興関係省庁の登壇を予定しています。

17:45-18:45

## プレゼンテーションマラソン2024

開催地域の映画館・シネマテーク・映画祭：川崎市アートセンター | 日本映画大学 | KAWASAKIしんゆり映画祭 | チネチッタ

喜八プロダクション | 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム ほか

韓日アートシネマ交流フォーラム報告 ほか

19:15-21:00

レセプション 会場：新百合21（トウェンティワン）ホール [定員：100人]

9/20 [金]

分科会 会場：川崎市アートセンター映像館、コラボレーションスペース | 日本映画大学（新百合ヶ丘キャンパス）

10:00-12:00

\* 以下はいずれも予定

### 分科会① アートハウス・カルチャーの<sup>レスポンス</sup>応答可能性

〔進行〕山崎紀子（シネ・ヌーヴォ） | 山下宏洋（シアター・イメージフォーラム） | 渡辺祐一（東風）

〔ゲスト〕小森はるか（映像作家） | 月永理絵（ライター） | 北條誠人（ユアスペース）

製作・配給・上映の現場における性加害やハラスメント、労働搾取など、提起される様々な問題に対して何ができるのか。いかにして映画の自律性を保持するのか。responsibility（責任）のresponseとは、他者の問いかけに応答することです。活動報告と対話を通じて、アートハウス・カルチャーに携わる私たち自身の「<sup>レスポンス</sup>応答可能性」を探ります。

### 分科会② 新しいコミュニティシネマのつくりかた

〔進行〕竹中翔子（シネコヤ） | 志尾睦子（コミュニティシネマセンター、NPO法人たかさきコミュニティシネマ）

仲間を募って上映会をやってみたい、身近な場所に上映できる場をつくりたい、映画館（ミニシアター）をつくりたい…コミュニティシネマにもいろいろな段階、あり方があります。あなたはどんな“コミュニティシネマ”をつくりたいですか。初めての人も、ベテランの映画館支配人も、“新しいコミュニティシネマ”のヒントが得られます。

### 分科会③ 「こどもと映画」プログラム／鑑賞ワークショップの方法論

〔進行〕土田環（早稲田大学）

〔登壇者〕村上朗子（川崎市アートセンター） | 阿部久瑠美（鎌倉市川喜多映画記念館） | ナデージュール（通訳：金敬淑） | コミュニティシネマセンター

未来の観客や映画の制作者を育てるために、映画を上映する私たちに何ができるのか——上映を行う人たちのためのワークショップや教育プログラムに関する情報を共有する場が求められています。この分科会では「夏休みの映画館」のための「鑑賞ノート」を使ったプログラムを中心にプログラムの立て方、作品の魅力を伝える際のポイントなどを考えます。

12:15-12:45

全体会 会場：川崎市アートセンター映像館

14:00-

全国コミュニティシネマ会議開催記念上映会 会場：川崎市アートセンター映像館 [定員98人]

〔上映作品〕

映画監督・岡本喜八 生誕100周年記念プロジェクト

in 川崎市アートセンター

『近頃なぜかチャールストン』（監督：岡本喜八 | 1981年 | 116分）

〔トークゲスト〕利重剛（主演・共同脚本）

17:00-

日本映画大学連携企画

日本映画学校卒業生・モンティンダン監督（ミャンマー出身）作品上映

『エイン』（2006年 | 45分）

〔トークゲスト〕モンティンダン（監督） | 天願大介（監督、日本映画大学学長）



© 1981 東宝

# The National Conference of Community Cinemas 2024 in KAWASAKI

全国コミュニティシネマ会議2024イン川崎

Timetable

2024.9.19 | thu | , 20 | fri

9/19 [木]	会場:川崎市アートセンター小劇場 [定員:195人]
13:00	開場
13:30	開会 主催者挨拶
13:40-13:55	オープニング上映「川崎市政ニュース映画」セレクション〈川崎市映像アーカイブ〉
14:00-15:40	プレゼンテーション+講演 “学びの場”としての映画館Ⅰ:コミュニティシネマの映画鑑賞教育プログラム
15:50-17:30	プレゼンテーション+ディスカッション “学びの場”としての映画館Ⅱ:映画館が「クリエイター」を育成する
17:45-18:45	プレゼンテーションマラソン2024 —
19:15-21:00	レセプション 会場:新百合21 (トウェンティワン) ホール [定員:100人]

9/20 [金]	会場:川崎市アートセンター映像館、コラボレーションスペース 日本映画大学 (新百合ヶ丘キャンパス)
10:00-12:00	分科会① <sup>レスポンスビリティ</sup> アートハウス・カルチャーの応答可能性 分科会② 新しいコミュニティシネマのつくりかた 分科会③ 「こどもと映画」プログラム/鑑賞ワークショップの方法論 —
12:15-12:45	全体会 会場:川崎市アートセンター映像館 —
14:00-	全国コミュニティシネマ会議開催記念上映会 会場:川崎市アートセンター映像館 [定員98人]

会場

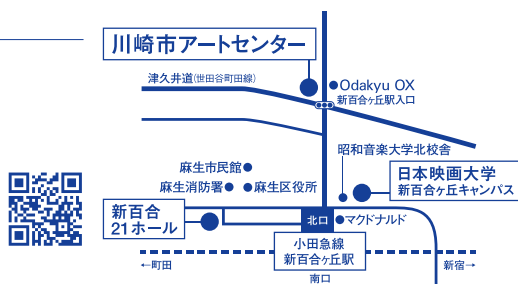
## 川崎市アートセンター

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-1

TEL 044-955-0107 <https://kawasaki-ac.jp/>

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

[アクセスマップ] <https://kawasaki-ac.jp/access/>



Information

[申込に関するお問い合わせ]

コミュニティシネマセンター TEL 050-3535-1573 E-mail [film@jc3.jp](mailto:film@jc3.jp)

[会場に関するお問い合わせ]

川崎市アートセンター TEL 044-955-0107 (第二月曜休館) E-mail [info@kawasaki-ac.jp](mailto:info@kawasaki-ac.jp)

主催:一般社団法人コミュニティシネマセンター

共催:公益財団法人川崎市文化財団 協力:日本映画大学

後援:川崎市/神奈川県興行生活衛生同業組合/「映像のまち・かわさき」推進フォーラム/NPO法人KAWASAKIアーツ

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業・芸術家等人材育成)/独立行政法人日本芸術文化振興会

在日フランス大使館/アンスタイチュ・フランセ日本



JAPAN  
COMMUNITY  
CINEMA  
CENTER

川崎市アートセンター  
kawasaki ART center

申込

9月2日[月]より一般受付開始

●8月26日[月]よりコミュニティ  
シネマセンター会員優先受付

<https://cckaigi2024-kawasaki.peatix.com>



- 参加を希望する方は、  
9月13日[金]までにお申込みください。
- 定員になり次第締め切らせていただきます。

[参加費]

会議:1,500円

- 参加費は、当日受付にて  
現金でお支払いいただけます。
- コミュニティシネマセンター [団体] 会員は  
1団体1名無料。
- 9月19日、20日共に参加可。  
一部のみ参加も同じ。

レセプション:4,000円

映画上映(入替制)

『近頃なぜかチャールストン』

一般・シニア1,100円  
(障がい者1,000円、高校生以下800円)

『エイン』

500円均一

- コミュニティシネマセンター [団体] 会員は  
1団体1名無料。